

日本の小中学校、高校に在籍する外国にルーツをもつ児童生徒への日本語指導と心の居場所づくり

事業分野 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業

■実施団体

特定非営利活動法人みらい

愛知県知立市昭和9丁目2番地74号棟3号室

[Npo法人みらい](#) | [Chiryu-shi Aichi](#) | [Facebook](#)

■事業期間

2025年4月～2026年2月

■対象国・地域 日本・愛知県知立市

■事業目標

①児童生徒の日本語力を伸ばすことで、自信をつけ、先生や友人とコミュニケーションがとれるようになること、また将来の選択肢を増やし、自己決定できるような環境の基盤をつくること ②児童生徒が、悩みを相談したり、不安を吐露したりできるような心の拠り所となる居場所を地域につくること ③児童生徒を支援することで、保護者の不安を軽減し、孤立した子育てを防ぐこと ④学校と連携し、子どもをサポートする体制づくりを構築すること

■事業内容

児童生徒それぞれが必要とする日本語習得のための支援を行う。併せて、仲間と共に切磋琢磨しながら学習したり、自分の想いを吐露したりできる環境をつくり、心の居場所づくりを行う

■事業実施の背景

当法人は外国につながる子どもたちを地域でも支えようと2009年より学習支援を行ってきた。その中で、滞日期间が短いなど初期の日本語指導を必要とする児童生徒への支援体制が十分に構築できていないことを課題として抱えてきた。まったなしに年を重ねていく子どもたちを前に、専門性を有する講師による日本語学習の場と、安心して過ごせる居場所づくりが急務であった。

団体のこれまでの取り組み

●JICA海外協力隊OV(2005年ブラジル、日系日本語学校教師)が代表となり、2009年任意団体「放課後学習教室みらい(現:学習支援事業みらい)」を立ち上げる(2014年NPO法人化)。知立市を拠点に外国につながる小中学生等に学習支援を行っている。

●2013年に多文化親子サポート事業みらいJr.(現:多文化子育てサロンみらいJr.)を開始する。0～6歳の子どもと保護者を対象に、育児仲間ができる場、正しい育児情報が得られる場、育児相談ができる場として多文化子育てサロンを実施している。

事業実施の工夫点・成果

子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちの言葉に丁寧に耳を傾け続けることを大切にして取り組んだ。その積み重ねにより、子どもたちは徐々に自分の気持ちや考えを表現することができるようになった。

